

科目名	科学技術文章	英文表記	Science and Technology Expression	平成24年3月1日					
科目コード	4002								
教員名:網谷 厚子 技術職員名:				作成					
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間			
全学科	4年	必	履修	1単位	講義	後期			
科目目標	1 論理的思考力を身につける。 2 論証することについて熟達する。 3 科学技術文章のスタイルについての基礎的技術を習得する。								
総合評価	1 論理的思考力に関する小テスト・レポートによる評価(20%) 2 プレゼンテーション・小論文による評価(30%) 3 科学技術文章について中間考査による評価(50%)								
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法					
	①	科学技術者に必要な論理的思考力を身につける。(機械A-1,C-1,情報A-1,C-1,メディアA-1,C-4,生物B-1,C-2)	⇒	小論文・プレゼンテーションにより評価する。					
	②	論証することができる。(機械A-1,C-1,情報A-1,C-1,メディアA-1,C-4,生物B-1,C-2)	⇒	論証に関するレポート、中間考査により評価する。					
	③	科学技術文章のスタイルを習得する。(機械A-1,C-1,情報A-1,C-1,メディアA-1,C-4,生物B-1,C-2)	⇒	スタイルについての基礎的小テストにより評価する。					
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	○	◎		○	JABEEプログラム教育目標	A-1,C-1	A-1,C-1	A-1,C-4	B-1,C-2
授業概要、方針、履修上の注意	1 批評・批判・論証についての考え方を、実例・パターンに基づいて学ばせ、小論文・レポートを数回書かせることにより、自ら運用できる力を身につかせる。 2 科学技術文章の特色について理解させ、正しき的確に表現できる能力を、小テストで確認しながら形成的に評価し、確実に習得させる。 3 書くこと(論証すること)・話すこと(発表すること)・聴くこと(批評的に)をバランス良く配置し、主体的な学習となるようにする。								
教科書・教材	『知的な科学・技術文章の書き方』(中島利勝・塚本真也著、コロナ社)・『知的な科学・技術文章の徹底演習』(塚本真也著、コロナ社)								
<b>授 業 計 画</b>									
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				自学自習(予習・復習)内容		
1		2							
2		2							
3		2							
4		2							
5		2							
6		2							
7		2							
8		2							
9		2							
10		2							
11		2							
12		2							
13		2							
14		2							
15		2							
期末									
16	論理的思考の方法	2	「論理的」となるための必要な要素を学ぶ。						
17	論理の進め方	2	実例を理解し、説得力の根拠を理解する。						

18	批評・批判・論証の実例	2	同調・反対等の説得力ある表現の特徴に気づく。	
19	論拠・データの集め方	2	論拠・データの収集の仕方・表現について習熟する。	
20	説得力ある論理的文章とは	2	「論理的」となるための必要な要素を学ぶ。	
21	科学技術文章の特徴	2	科学技術文章とは何か、基礎的知識を身につける。	
22	文章のルール・スタイル	2	横書きスタイルに関するルールについて学ぶ。	
23	形式名詞・補助動詞の表記・禁則処理	2	形式名詞・補助動詞等の表現に習熟する。	
24	中間審査	2	上記の学習の習熟度を評価する。	
25	副詞・各種記号・表記のルール、プレゼンテーションの工夫	2	表記の様々なルール、プレゼンテーションの工夫について学ぶ。	
26	プレゼンテーションの実際	2	実際にプレゼンテーションさせ相互評価する。	
27	接続詞・接文語句のルール、文末表現の工夫	2	効果的・明解な文章、力強い魅力的な文章を書く方法について学ぶ。	
28	短文・長文の活用法	2	長短の文章の特徴を最大限に生かす方法を学ぶ。	
29	図番・図表の活用法	2	効果的活用について基礎的知識を身につける。	
30	明解な文章表現法・科学技術者の守るべきルール	2	明解な文章へと推敲できる能力を鍛え、科学・技術者の守るべきルールを学ぶ。	
<b>期末</b>				
学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
<b>備考欄</b>				
この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)

|

|

|